
中心市街地活性化基本計画 平成 26 年度最終フォローアップ報告

平成 27 年 8 月

内閣府地方創生推進室

目 次

- I. 中心市街地活性化基本計画 最終フォローアップの概要 …… 1 ページ
- II. 目標指標分野別分析結果の概要 …… 2 ページ
 - (1) 集計結果
 - (2) 取組の進捗状況
 - (3) 目標達成の状況
 - (4) 基準値からの改善状況及び目標達成状況
- III. 中心市街地活性化テーマ別分析結果の概要 …… 6 ページ
 - (1) 集計結果
 - (2) 取組の進捗状況
 - (3) 目標達成の状況
 - (4) 基準値からの改善状況及び目標達成状況
- IV. 計画期間終了後の中心市街地の状況 …… 9 ページ
 - (1) 進捗・完了状況及び活性化状況について
 - (2) 中心市街地活性化協議会の意見について
 - (3) 市民からの評価、市民意識の変化について
- V. 好取組事例 …… 11 ページ
- VI. 取組の進捗・完了状況及び目標達成状況に関する各市からの報告 …… 13 ページ

I. 中心市街地活性化基本計画 最終フォローアップの概要

最終フォローアップについて

- 認定を受けた基本計画では、各市町村が複数の目標を掲げている。各目標においては、その達成状況を的確に把握できるよう、定量的な指標（目標指標）を設定している。
- 最終フォローアップ対象となる25市の25基本計画では、合計64の目標指標が設定されており、各種事業をもって当該目標の達成に向けた取組が行われてきた。
- 認定を受けた基本計画については、各自治体自ら計画期間満了後に、取組（事業等）が予定どおり進捗したのか、市町村としての目標は達成されたのか等を自己評価（最終フォローアップ）として報告して頂いている。

平成24年度中間フォローアップ対象計画

25市 25計画 64指標※（詳細はP13、14に掲載）

※平成27年7月末時点で、128市180計画が内閣総理大臣の認定を受けている。

【参考：平成25年度】25市 27計画 82指標

取組の進捗状況と目標達成状況に関する集計結果

- フォローアップ対象の全64指標を下記の分類により集計を行った。

<取組の進捗状況及び目標達成状況の分類>

- A（計画した事業は概ね予定どおり進捗・完了。さらに、最新の実績でも目標値を超えている。）
- a（計画した事業は予定どおりには進捗・完了しなかった。一方、最新の実績では目標値を超えている。）
- B（計画した事業は概ね予定どおり進捗・完了。一方、最新の実績では基準値は超えたが、目標値には達していない。）
- b（計画した事業は予定どおりには進捗・完了しなかった。また、最新の実績では基準値を超えたが、目標値には達していない。）
- C（計画した事業は概ね予定どおり進捗・完了。一方、最新の実績では目標値及び基準値にも達してない。）
- c（計画した事業は予定どおりには進捗・完了しなかった。また、最新の実績では目標値及び基準値にも達していない。）

	事業は概ね予定どおり進捗・完了	事業は予定どおりには進捗・完了しなかった
目標達成	A : 15指標 (24%) (平成25年度: 13指標 (16%))	a : 4指標 (6%) (平成25年度: 4指標 (5%))
目標は未達成だが、計画当初より改善	B : 7指標 (11%) (平成25年度: 14指標 (17%))	b : 2指標 (3%) (平成25年度: 3指標 (4%))
計画当初より悪化	C : 21指標 (33%) (平成25年度: 37指標 (45%))	c : 15指標 (23%) (平成25年度: 11指標 (13%))

II. 目標指標分野別分析結果の概要

各市がフォローアップを行った目標指標を7分野に分類し、各分野の取組の進捗状況、目標達成状況、基準値からの改善状況等について分析した。

(1) 集計結果

目標指標分野別集計結果

○ 各市がフォローアップを行った目標指標に係る取組の進捗・完了状況及び目標達成の状況について、以下の①～⑦の7つに分類した上で集計を行った。

達成状況	全体	① 通行量	② 居住人口 等	③ 販売額等	④ 空き店 舗等	⑤ 施設入込 数等	⑥ 公共交通 機関利用	⑦ その他
A	15(23%)	7	3	0	2	3	0	0
a	4(6%)	3	0	1	0	0	0	0
B	7(11%)	2	1	0	1	3	0	0
b	2(3%)	1	0	0	0	1	0	0
C	21(33%)	10	3	4	0	2	1	1
c	15(23%)	3	7	2	0	2	1	0
合計	64	26	14	7	3	11	2	1

目標指標分類	主な目標指標	主な取組例
A 通行量	歩行者・自転車通行量 等	公共交通整備、歩行空間整備、レンタサイクル事業、文化交流施設整備、商業施設整備、イベント開催 等
B 居住人口等	居住人口 等	居住環境整備（土地区画整理、マンション建設、商業施設整備等） 等
C 販売額等	小売業年間商品販売額、年間売上額 等	市街地再開発（住宅整備、駐車場整備、商業施設整備等）、集客拠点整備、イベント開催、新規出店・起業支援 等
D 空き店舗等	店舗数、空き店舗数 等	テナントミックス、チャレンジショップ、新規出店・起業支援 等
E 施設入込数等	観光施設入込客数、文化施設・都市福祉施設の利用者数 等	複合施設整備、街なか観光・イベントPR、観光マップ・ルート整備、イベント開催 等
F 公共交通機関利用	路面電車乗車人数、コミュニティバスの利用者数	観光客増加・回遊性向上施策（商業施設整備、イベント開催、空き家・空き店舗対策 等）
G その他	上記A～F以外の目標指標として、平成26年度は、「卸売・小売業、飲食業、サービス業の事業所数」がフォローアップの対象となっている。これらの目標指標に対して、商業施設、飲食施設、軽飲食施設、物販・情報・休憩施設整備等の取組が行われている。	

(2)取組の進捗状況

- 取組（事業等）の進捗が順調である^(注1) 目標指標は全体の67%である。（平成25年度78%）
- 「通行量」、「空き店舗等^(注2)」、「施設入込数等」に関する目標指標は、取組の進捗が順調である指標の割合（取組順調率）が平均よりも高い^(注3)。
- 一方で、「居住人口等」、「販売額等」に関する目標指標の取組順調率は、全体平均よりも低い^(注3)。

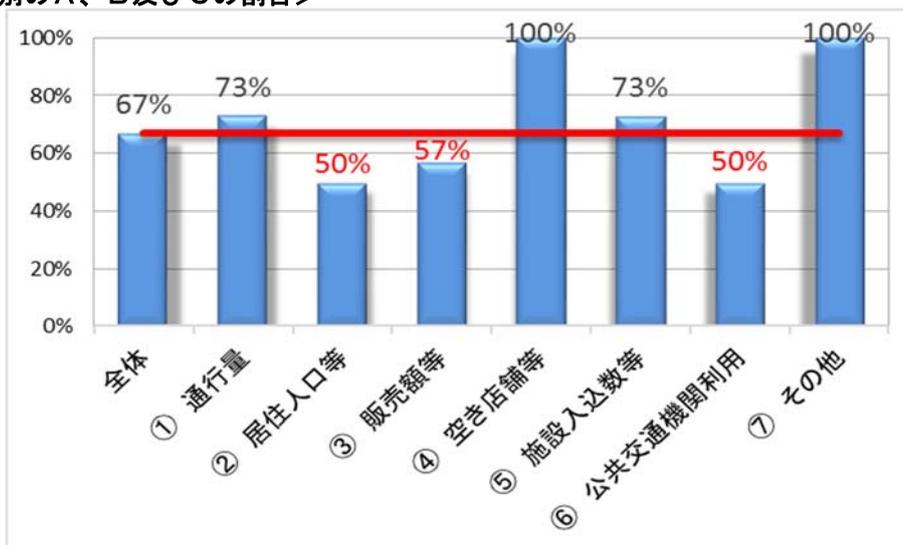
取組の進捗状況に関する分析結果

<各目標指標分野の取組の進捗状況の割合>

	全体	① 通行量	② 居住人口 等	③ 販売額等	④ 空き店舗 等	⑤ 施設入込 数等	⑥ 公共交通 機関利用	⑦ その他
A+B+C	43	19	7	4	3	8	1	1
a+b+c	21	7	7	3	0	3	1	0
合計	64	26	14	7	3	11	2	1
取組順調率	67%	73%	50%	57%	100%	73%	50%	100%

$$\text{取組順調率} = (A + B + C) / (A + \underline{a} + B + \underline{b} + C + \underline{c})$$

<目標指標分野別のA、B及びCの割合>



(注1)取組の進捗・完了状況及び目標達成状況等の分類(P1参照)のうち、「予定どおり進捗・完了」したものはA、B及びCが、進捗が「予定どおりでない」ものはa、b及びcが、それぞれ相当する。

(注2)「空き店舗等」に関しては、目標指標数そのものが少ないため、有意な結果となっていない可能性がある。

(注3)全目標指標のうちA、B及びCが選択された割合（取組順調率）が67%であったため、これと比較して数値が大きい(小さい)場合には、「取組順調率が全体平均よりも高い(低い)」としている。

(3)目標達成の状況

- 目標を達成した^(注1) 目標指標は全体の30%である。(平成 25年度 21%)
- 「通行量」、「空き店舗等^(注2)」に関する目標指標は、目標を達成した指標の割合(目達達成率)が全体平均よりも高い^(注3)。
- 一方で、「居住人口等」、「販売額等」、「施設入込数等」に関する目標指標の目達達成率は、全体平均よりも低い^(注3)。

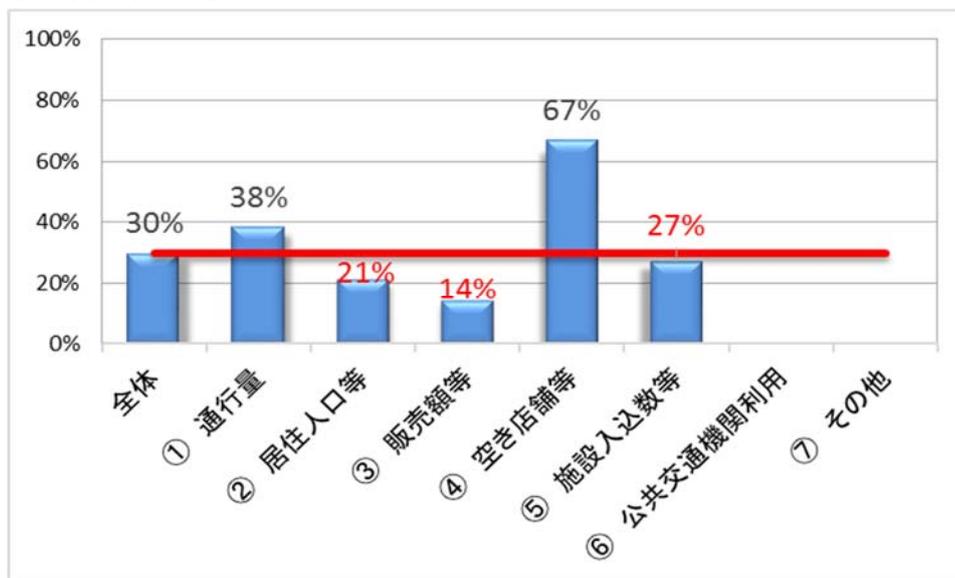
目標達成状況に関する分析結果

<各目標指標分野のA及びaの割合>

	全体	① 通行量	② 居住人口 等	③ 販売額等	④ 空き店舗 等	⑤ 施設入込 数等	⑥ 公共交通 機関利用	⑦ その他
A+a	19	10	3	1	2	3	0	0
B+b+C+c	45	16	11	6	1	8	2	1
合計	64	26	14	7	3	11	2	1
目標達成率	30%	38%	21%	14%	67%	27%	0%	0%

$$\text{目達率} = (A + a) / (A + a + B + b + C + c)$$

<目標指標分野別目達見込率の比較>



(注1) 取組の進捗・完了状況及び目標達成状況等の分類(P1参照)のうち、「目標が達成」したものはA及びaが、「目標未達成」ものはB、b、C及びcが、それぞれ相当する。

(注2) 「空き店舗等」に関しては、目標指標数そのものが少ないため、有意な結果となっていない可能性がある。

(注3) 全目標指標のうちA及びaが選択された割合(目標達成率)が30%であったため、これと比較して数値が大きい(小さい)場合には、「目標達成率が全体平均よりも高い(低い)」としている。

(4) 基準値からの改善状況及び目標達成状況

- 現況（実績値）が基本計画策定時の状況（基準値）から改善している目標指標は全体の 44% である。（平成 25 年度 41%）
- 「通行量」、「空き店舗等^(注1)」、「施設入込数等」に関する目標指標は、実績値が基準値から改善している指標の割合（基準値改善率）が全体平均より高い^(注2)。
- 一方で「居住人口等」、「販売額等」に関する目標指標は、基準値改善率が全体平均よりも低い^(注2)。

基準値からの改善状況及び目標達成状況に関する分析結果

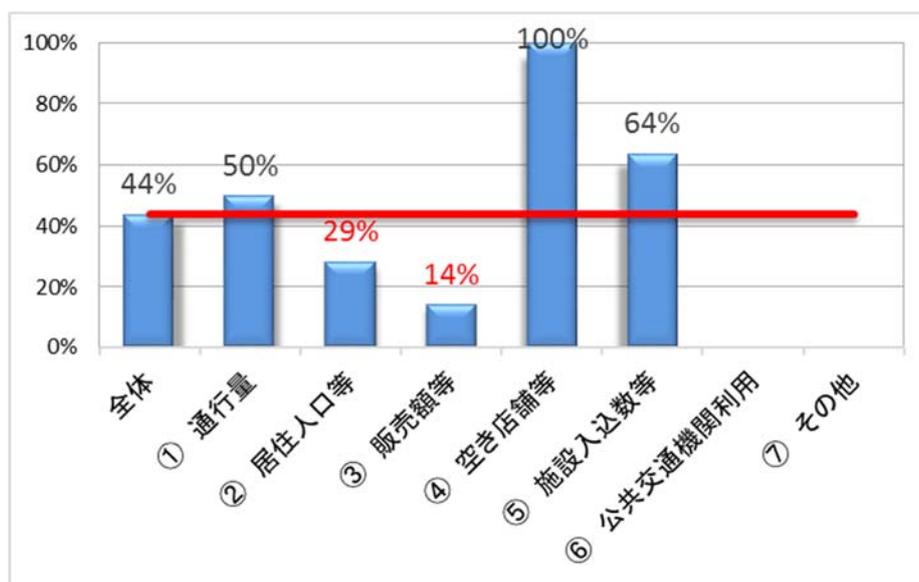
<各目標指標分野の改善状況及び目標達成状況>

	全体	① 通行量	② 居住人口 等	③ 販売額等	④ 空き店舗 等	⑤ 施設入込 数等	⑥ 公共交通 機関利用	⑦ その他
基準値より改善	28	13	4	1	3	7	0	0
(うち、目標達成)	19	10	3	1	2	3	0	0
基準値より悪化	36	13	10	6	0	4	2	1
合計	64	26	14	7	3	11	2	1
基準値改善率	44%	50%	29%	14%	100%	64%	0%	0%
目標達成率	30%	38%	21%	14%	67%	27%	0%	0%

基準値改善率＝基準値より改善 / (基準値より改善＋基準値より悪化)

目標達成率＝基準値より改善した指標のうち目標値を上回るもの / (基準値より改善＋基準値より悪化)

<目標指標分野別基準値改善率の比較>



(注1) 「空き店舗等」に関しては、目標指標数そのものが少ないため、有意な結果となっていない可能性がある。

(注2) 全目標指標のうちA、a、B及びbが選択された割合（基準値改善率）が44%であったため、これと比較して数値が大きい（小さい）場合には、「基準値改善率が全体平均よりも高い（低い）」としている。

Ⅲ. 中心市街地活性化テーマ別分析結果の概要

- 例えば「歩行者・自転車通行量」の目標指標においては、調査日が平日と休日によって、通行する人（前者は地域住民、後者は買い物客・観光客等の来街者が中心）や目標達成に向けた取組が異なる。
- そこで、フォローアップ対象の目標指標を中心市街地活性化のテーマ（居住者の利便性向上、来街者の呼び込み、商業振興）別に分類し、取組の進捗状況、目標達成状況、基準値からの改善状況等について分析した。

(1) 集計結果

テーマ別集計結果

- 各市がフォローアップを行った目標指標に係る取組の進捗状況及び目標達成状況について、以下のⅠ～Ⅲの3つに分類した上で集計を行った。

	全 体	Ⅰ 居住者の利便性 向上による活性化	Ⅱ 来街者の呼び込 みによる活性化	Ⅲ 商業振興による 活性化
A	15	6	7	2
a	4	1	2	1
B	7	1	5	1
b	2	0	2	0
C	21	9	7	5
c	15	10	3	2
合計	64	27	26	11

<目標指標の分類基準と主な取組例>

目標指標分類	主な目標指標	主な取組例
a 居住者の利便性向上による活性化	歩行者・自転車通行量(平日)*、居住人口、福祉・文化・交流施設等の利用者数、路面電車乗車人数、コミュニティバスの利用者数 等	公共交通整備、歩行空間整備、文化交流施設整備、商業施設整備、イベント開催、居住環境整備（土地区画整理、マンション建設、商業施設整備等） 等
b 来街者の呼び込みによる活性化	歩行者・自転車通行量(休日)*、観光施設入込客数、観光客の滞在時間 等	歩行空間整備、複合施設整備、レンタサイクル事業、街なか観光・イベントPR、観光マップ・ルート整備、イベント開催 等
c 商業振興による活性化	小売業年間商品販売額、空き店舗数、事業所数 等	市街地再開発（住宅整備、駐車場整備、商業施設整備等）、集客拠点整備、イベント開催、新規出店・起業支援、テナントミックス、チャレンジショップ、新規出店・起業支援 等

※「歩行者・自転車通行量」の指標のうち、平日・休日平均又は平日・休日合計で数値を把握しているものについては、平日より休日に重点をおいて事業に取り組んでいる市町村が多いことから、「Ⅱ」に分類した。

(2)取組の進捗状況

- 「来街者の呼び込みによる活性化」及び「商業振興による活性化」のテーマに関する目標指標は、取組の進捗が順調である^(注1) 指標の割合（取組順調率）が全体平均よりも高い^(注2)。
- 一方で、「居住者の利便性向上による活性化」のテーマに関する目標指標の取組順調率は、全体平均よりも低い^(注2)。

取組の進捗状況に関する分析結果

<中心市街地活性化に関する各テーマのA、B及びCの割合>

	全 体	I 居住者の利便性 向上による活性化	II 来街者の呼び込 みによる活性化	III 商業振興による 活性化
A+B+C	43	16	19	8
a+b+c	21	11	7	3
合計	64	27	26	11
取組順調率	67%	59%	73%	73%

$$\text{取組順調率} = (A + B + C) / (A + a + B + b + C + c)$$

- (注1) 取組の進捗状況及び目標達成状況の分類（P1参照）のうち、進捗が概ね予定どおりであるものはA、B及びC、進捗が予定どおりでないものはa、b、cが、それぞれ相当する。
- (注2) 全目標指標のうちA、B及びCが選択された割合（取組順調率）が67%であったため、これと比較して数値が大きい（小さい）場合には、「取組順調率が全体平均よりも高い（低い）」としている。

(3)目標達成の状況

- 「来街者の呼び込みによる活性化」のテーマに関する目標指標は、目標を達成している^(注1) 指標の割合（目標達成率）が全体平均よりも高い^(注2)。
- 一方で、「居住者の利便性向上による活性化」及び「商業振興による活性化」のテーマに関する目標指標の目標達成率は、全体平均よりも低い^(注2)。

目標達成の状況に関する分析結果

<中心市街地活性化に関する各テーマのA、B及びCの割合>

	全体	I 居住者の利便性 向上による活性化	II 来街者の呼び込 みによる活性化	III 商業振興による 活性化
A+a	19	7	9	3
B+b+C+c	45	20	17	8
合計	64	27	26	11
目標達成率	30%	26%	35%	27%

$$\text{目標達成率} = (A + a) / (A + a + B + b + C + c)$$

- (注1) 取組の進捗状況及び目標達成状況の分類（P1参照）のうち、目標達成としているものはA及びa、目標達成できなかったものはB、b、C及びcが、それぞれ相当する。
- (注2) 全目標指標のうちA及びaが選択された割合（目標達成率）が30%であったため、これと比較して数値が大きい（小さい）場合には、「目標達成率が全体平均よりも高い（低い）」としている。

(4) 基準値からの改善状況及び目標達成状況

- 「来街者の呼び込みによる活性化」のテーマに関する目標指標は、実績値が基準値から改善している指標の割合（基準値改善率）が全体平均よりも高い（注1）。
- 一方で、「居住者の利便性向上による活性化」及び「商業振興による活性化」のテーマに係る目標指標の基準値改善率は、全体平均よりも低い（注1）。

基準値からの改善状況及び目標達成状況に関する分析結果

<中心市街地活性化に関する各テーマの改善状況及び目標達成状況>

	全 体	I 居住者の利便性 向上による活性化	II 来街者の呼び込 みによる活性化	III 商業振興による 活性化
基準値より改善	28	8	16	4
（うち、目標達成）	19	7	9	3
基準値より悪化	36	19	10	7
合計	64	27	26	11
基準値改善率	44%	30%	62%	36%
目標達成率	30%	26%	35%	27%

基準値改善率＝基準値より改善／（基準値より改善＋基準値より悪化）

目標達成率＝基準値より改善した指標のうち目標値を上回るもの／（基準値より改善＋基準値より悪化）

（注1）全目標指標のうち、実績値が基準値から改善している指標の割合（基準値改善率）が44%であったため、これと比較して数値が大きい（小さい）場合には、「基準値改善率が全体平均よりも高い（低い）」としている。

IV. 計画期間終了後の中心市街地の状況

各市が市街地の状況や中活協議会及び市民の意見等を参考に、認定自治体として計画した事業が順調に進捗・完了したかどうか、また、中心市街地という単位で活性化が図られたかどうかについて総合的な判断を行った。

(1) 進捗・完了状況及び活性化状況について

- 対象自治体25市（25計画）のうち21計画が、計画した事業が概ね順調に進捗・完了したと判断している。

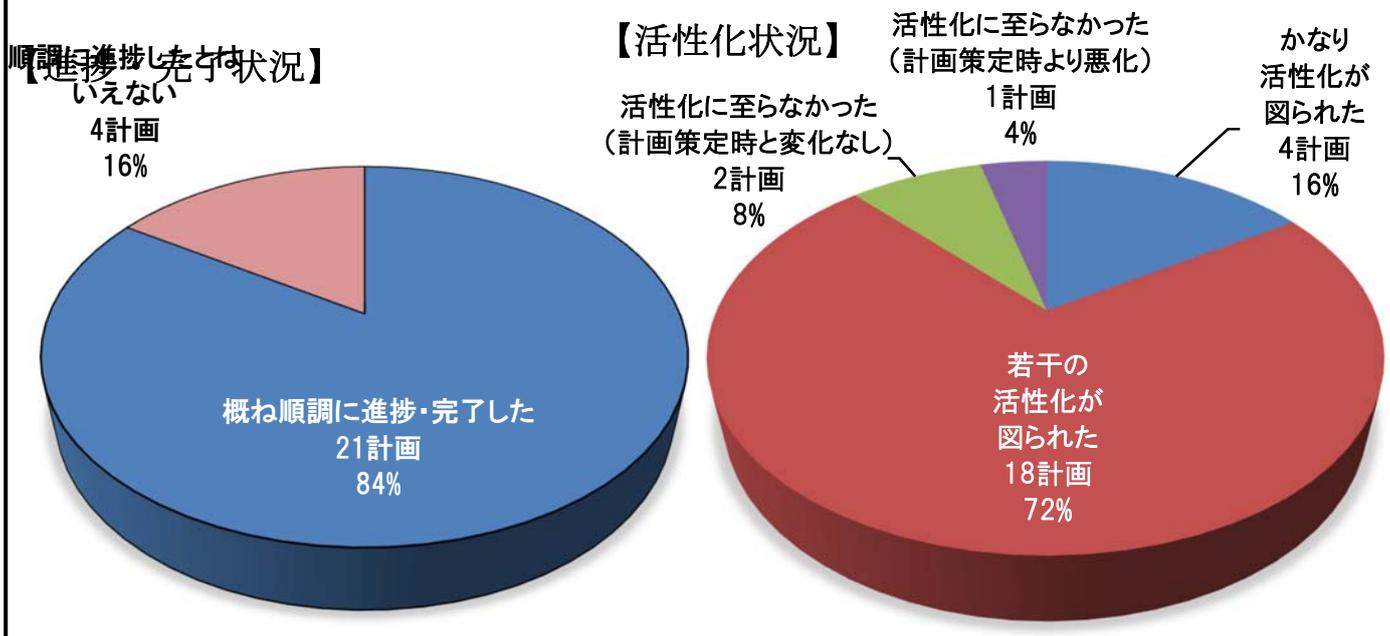
【進捗・完了状況】

(計画期間終了後の状況)	概ね順調に進捗・完了した	順調に進捗したとはいえない
計画数(全25計画)	21計画	4計画

【活性化状況】

(計画期間終了後の状況)	かなり活性化が図られた	若干の活性化が図られた	活性化に至らなかった(計画策定時と変化なし)	活性化に至らなかった(計画策定時より悪化)
計画数(全25計画)	4計画	18計画	2計画	1計画

※計画した事業は予定通り進捗・完了したのか。また、中心市街地の活性化は図られたのかを個別指標毎ではなく中心市街地の状況を自治体が総合的に判断。



(2) 中心市街地活性化協議会の意見について

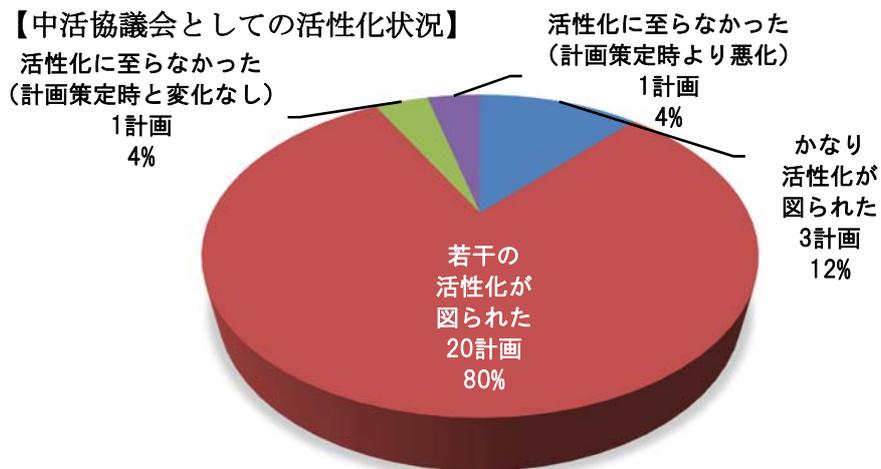
○ 対象自治体25市・25計画のうち23計画が、自治体における中心市街地活性化協議会が中心市街地の活性化が図られたと意見している。

【中活協議会としての活性化状況】

(計画期間終了後の状況)	かなり活性化が図られた	若干の活性化が図られた	活性化に至らなかった (計画策定時と変化なし)	活性化に至らなかった (計画策定時より悪化)
計画数(全25計画)	3計画	20計画	1計画	1計画

※中心市街地という単位で活性化が図られたかどうかを中心市街地活性化協議会として判断。

【中活協議会としての活性化状況】



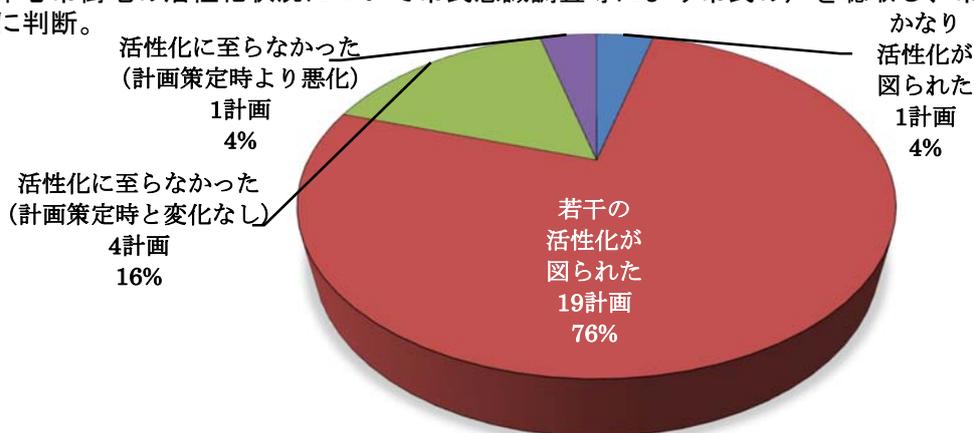
(3) 市民からの評価、市民意識の変化について

○ 対象自治体25市(25計画)のうち、8割の自治体における市民が、活性化が図られたと感じている。

【市民からの評価、市民意識の変化について】

(計画期間終了後の状況)	かなり活性化が図られた	若干の活性化が図られた	活性化に至らなかった (計画策定時と変化なし)	活性化に至らなかった (計画策定時より悪化)
計画数(全25計画)	1計画	19計画	4計画	1計画

※中心市街地の活性化状況について市民意識調査等により市民の声を聴取し、市民意識の変化を総合的に判断。



V. 好取組事例

①歩行者通行量の増加に繋がっている事例

市町村名	倉敷市(岡山県)【平成22年3月23日認定】				
計画期間	平成22年3月～平成27年3月				
目標指標	歩行者・自転車通行量(休日)の増加				
基準値	72,452人/日 (平成21年)	実績値	96,263人/日 (平成26年)	目標値	74,000人/日 (平成26年)
取組概要	<p>○JR 倉敷駅北では倉敷市が「潤いと憩いの空間」として倉敷みらい公園を、民間企業が「賑わい創出空間」として大規模複合型商業施設を整備。同駅南では倉敷美観地区において電線類地中化等により町並み景観の向上を図るとともに、倉敷らしい町家・古民家再生による新魅力集客拠点「林源十郎商店、奈良萬の小路、クラシキ庭苑、くらしき宵待ちガーデン」などが開業したこと等により、実績値が目標値を大幅に上回った。</p> <p>○目標達成のために計画した事業は概ね予定どおり完了。さらに、最新の実績でも目標値を超えた。</p> <p>○今後は更なる賑わい創出を図るとともに、安定的に現況以上の水準を維持することを目指す。</p>				
					
	<p><倉敷みらい公園と大規模複合型商業施設></p>			<p><くらしき宵待ちガーデン></p>	

②歩行者通行量の増加に繋がっている事例

市町村名	大村市(長崎県)【平成21年12月7日認定】				
計画期間	平成21年12月～平成27年3月				
目標指標	歩行者・自転車通行量(平日・休日)の増加				
基準値	7,835人/日 (平成20年度)	実績値	10,355人/日 (平成26年度)	目標値	8,120人/日 (平成26年度)
取組概要	<p>○老朽化した商業・住宅施設を再開発し、平成24年10月に分譲マンションが完成、同年11月に商業施設「コレモおおむら」がオープンする等、商業施設等と一体となった利便性豊かな居住空間の整備を行った。</p> <p>○中心市街地内の回遊性の向上を図るため、商店街の休憩スペース等として、長椅子や情報案内板を備える公園を整備するとともに、散策路や公共施設のユニバーサルデザイン化を実施。</p> <p>○フリーマーケットやミニシアターなど多彩なイベントの開催が可能な広場や、多世代交流拠点となる市民交流プラザの整備を行うことで、親子連れを中心にした新たな人の流れが創出された。</p>				
					
	<p><商業施設 コレモおおむら></p>			<p><親子連れで賑わう市民交流プラザ></p>	

③ 空き店舗率の改善に繋がっている事例

市町村名	秋田市(秋田県)【平成20年7月9日認定】				
計画期間	平成20年7月 ~ 平成26年6月				
目標指標	空き店舗数				
基準値	25店 (平成19年)	実績値	5店 (平成25年)	目標値	7店 (平成25年)
取組概要	<p>○中心市街地内の空き店舗への入居や新店舗の建築などに要する設備資金の一部について、区域外に出店する場合に比べ利子補給率を0.5%上乘せし、最大2.0%の利子補給付きで融資あっせんを行った。</p> <p>○空き店舗への出店に係る経費(改装費、宣伝広告費、設備リース料、謝金等)の一部を補助したほか、大型商業施設内の空きテナントへの出店に対し、テナント賃借料の一部を補助した。</p> <p>○中通一丁目地区において整備された「エリアなかいち」のオープンによる中心市街地の通行量の増加との相乗効果が得られた。</p>				
	 <p>＜地元アーティストグッズ専門店(空き店舗入居例)＞</p>		 <p>＜中小路カフェ(空き店舗入居例)＞</p>		 <p>＜エリアなかいち＞</p>

④ 都市福利施設利用者数の増加に繋がっている事例

市町村名	守山市(滋賀県)【平成21年3月27日認定】				
計画期間	平成21年3月 ~ 平成27年3月				
目標指標	福祉・文化・交流施設の利用者数				
基準値	126,082人 (平成19年)	実績値	244,182人 (平成26年)	目標値	163,000人 (平成26年)
取組概要	<p>○「子どもから高齢者まで幅広い世代が共生できるまち」「住民参加により、地域資源を活かし、魅力的で歩いて楽しいまち」を目標に、「行政が半歩前に進み、民間がそれに続く」を基本として事業に取り組んできた結果、集える場所・憩える場所や訪れやすい環境、歴史に親しめる場などが創出された。</p> <p>○福祉・文化・交流・商業機能を合わせ持つ「中心市街地活性化交流プラザ(愛称:あまが池プラザ)」や、町家を活用して地域活性化施設や商業機能を持った「歴史文化まちづくり館(愛称:守山宿・町家“うの家”)」を整備したことによって、行き交う人が多様化しながら増加し、集客の核、賑わいの核となる場が創出された。</p> <p>○今後は新計画に追加した、教育文化・医療福祉拠点との連携を高めながら、まちの魅力を高め、歩いて楽しく回遊できるまちをめざす。</p>				
	 <p>＜あまが池プラザ・あまが池親水緑地でのイベントの様子＞</p>			 <p>＜うの家(町家歴史塾)＞</p>	

VI. 取組の進捗・完了状況及び目標達成状況に関する各市からの報告

<取組の進捗・完了状況の分類>

- A (計画した事業は概ね予定どおり進捗・完了。さらに、最新の実績でも目標値を超えている。)
 a (計画した事業は予定どおり進捗・完了しなかった。一方、最新の実績は目標値を超えている。)
 B (計画した事業は概ね予定どおり進捗・完了。一方、最新の実績では基準値を超えたが、目標値には達していない。)
 b (計画した事業は予定どおり進捗・完了しなかった。また、最新の実績では基準値を超えたが、目標値には達していない。)
 C (計画した事業は概ね予定どおり進捗・完了。一方、最新の実績では目標値及び基準値にも達していない。)
 c (計画した事業は予定どおり進捗・完了しなかった。また、最新の実績では目標値及び基準値にも達していない。)

<進捗・完了、活性化状況について、自治体、中活協議会、市民からの評価>

- ① かなり活性化が図られた
 ② 若干の活性化が図られた
 ③ 活性化に至らなかった (計画策定時と変化なし)
 ④ 活性化に至らなかった (計画策定時より悪化)

都道府県名	市町村名	目標	目標指標	自治体評価			中活協議会 意見	市民 評価
				評価 分類	進捗 完了 状況	活性化 状況		
平成20年7月9日認定								
秋田県	秋田市	訪れる人による賑わいづくり	歩行者・自転車通行量(休日)	A	①	②	②	②
		住む人による賑わいづくり	定住人口(夜間人口)	B				
		商店街の活力による賑わいづくり	小売業年間商品販売額	C				
		商店街の活力による賑わいづくり	空き店舗数	A				
平成20年11月11日認定								
北海道	富良野市	にぎわいと商業の活性化	歩行者通行量	C	①	①	①	②
		まちなか居住の推進	居住人口	C				
山形県	山形市	賑わい拠点の創出	歩行者通行量(休日)	C	①	②	②	②
		街なか居住の推進	中心市街地居住人口	c				
		街なか観光交流人口の増加	街なか観光客の入込数	A				
三重県	伊賀市	楽しく歩けるまちなみづくりと回遊性の向上	歩行者・自転車通行量	b	①	②	②	②
		魅力と集客力のある店の創出	小売業年間販売額	a				
		誰もが便利に移動できる交通手段の利便性向上	コミュニティバスの利用者数	c				
山梨県	甲府市	近隣商業と都心型商業が共存する商店街の再生	小売販売額	C	①	②	②	②
		拠点施設や歴史文化施設の整備によるにぎわいの創出	歩行者通行量	C				
		住環境整備や居住支援によるまちなか定住促進	居住人口	C				
愛媛県	松山市	街なかの賑わい創出	中央商店街の歩行者通行量(休日)	C	①	②	②	②
		街なかの賑わい創出	路面電車の年間乗車人数	C				
		街なかの観光交流人口増	中心市街地の観光客数(市有5施設)	B				
		街なかの商業活性化	中心市街地の小売年間商品販売額	C				
平成21年3月27日認定								
山形県	酒田市	中心商店街の活性化	歩行者・自転車通行量(平日)	c	②	②	②	②
		街なか観光の推進	観光施設入込数	c				
		街なか居住の促進	居住人口	c				
静岡県	掛川市	様々な目的で人が集うにぎわいのあるまち	主要地点の歩行者通行量	C	①	②	②	②
		快適で便利に多くの人が住むまち	中心市街地の居住人口	c				
		活発な商業・業務・サービス活動のあるまち	中心市街地の営業店舗数	A				
兵庫県	丹波市	ストック活用による集客・交流機能の強化	歩行者・自転車通行量	C	①	②	②	②
		官民協働による街なか居住の推進	中心市街地の人口	c				
滋賀県	守山市	子どもから高齢者まで幅広い世代が共生できるまち	中心市街地の福祉・文化・交流施設の利用者数	A	①	②	②	②
		住民参加により地域資源を活かし、魅力的で歩いて楽しいまち	歩行者・自転車通行量(平日)	a				
平成21年6月30日認定								
埼玉県	川越市	回遊性の向上	歩行者・自転車通行量(休日)8地点	A	①	①	②	②
			歩行者・自転車通行量(平日)8地点	A				
			滞在時間半日以上観光客割合	B				
			商業・サービス業の充実	C				
佐賀県	小城市	“城下町や羊羹”など地域の特徴を活かした交流人口の拡大	中心市街地の歩行者・自転車通行量	a	②	③	②	③
		魅力的で暮らしやすい都市・商業機能の充実	中心市街地商店街の年間小売販売額	c				
平成21年12月7日認定								
静岡県	沼津市	交流人口の拡大	中心市街地の歩行者自転車通行量(日曜日)	A	①	②	②	③
		定住人口の確保	中心市街地の居住人口	C				
福井県	敦賀市	敦賀の歴史・文化と新たな魅力が調和した中心市街地	観光施設の年間入込客数	B	①	②	②	③
		人が行き交い、新たな交流が生まれる中心市街地	歩行者・自転車通行量(休日)	C				
山口県	下関市	「歩きたくなる、回遊したくなる街」を実現する	歩行者等通行量(休日)	A	①	②	②	②
		「多様な魅力が備わり、ゆっくり訪れたい街」を実現する	観光入り込み客数	C				
		「愛着をもって、いきいきと暮らせる街」を実現する	市民サービス施設利用者数	A				
兵庫県	姫路市	人々が訪れ、集い、回遊するまち	歩行者・自転車通行量	C	①	②	②	②
			空き店舗数	B				
			居住者数	A				
大阪府	高槻市	中心市街地内の回遊性の向上	歩行者通行量	C	①	②	②	②
		商業の質の向上による、商業集積の吸引力の増進	小売業年間商品販売額	C				
長崎県	大村市	居住人口の拡大	居住人口	A	①	①	①	①
		交流人口の拡大	歩行者通行量	A				

都道府県名	市町村名	目標	目標指標	自治体評価			中活協議会 意見	市民 評価
				評価 分類	進捗 完了 状況	活性化 状況		
平成22年3月23日認定								
青森県	十和田市	芸術・歴史・文化を活かした魅力的な市街の形成を図る	歩行者・自転車通行量	B	①	②	②	②
		元気なお店や快適な空間づくりと、安心安全な生活環境の整備を図る	居住人口	c				
宮城県	石巻市	集客施設による賑わい	3拠点施設の利用者数	c	②	④	④	④
		回遊する人による賑わい	歩行者・自転車通行量	c				
		住む人による賑わい	定住人口	c				
福島県	福島市	賑わいの創出	歩行者・自転車通行量	B	①	②	②	②
		快適居住の促進	居住人口	c				
長野県	上田市	居住満足度の高い安全・安心な中心市街地の形成を進める	中心市街地の居住人口	A	①	②	②	②
		市民、事業者等が連携した活動により地域活力の向上を図る	中心市街地の歩行者通行量	C				
岡山県	倉敷市	倉敷がまもり育ててきた伝統文化を活かし、まちの魅力を向上させる	主要有料観光施設の入場者数	C	①	①	①	②
		歩いて楽しい、暮らしやすいまちを形成する	歩行者・自転車通行量(休日)	A				
大分県	佐伯市	地区住民・市民が集う街	歩行者通行量	c	①	③	③	③
		来街者(観光客)が集う街	歴史と文学のみち(山際通り)の観光入込客数	b				
平成22年11月30日認定								
兵庫県	川西市	魅力的で活気のある『かわにしのせぐち』の創造	年間商品販売額(小売業)	c	②	②	②	②
		楽しみながら回遊したくなる『かわにしのせぐち』の創造	休日の歩行者通行量	a				